

やまぐちっ子の学力向上に向けて - 提言 -

平成29年1月

やまぐちっ子の学力を育む検証・改善委員会

平成28年度の全国学力・学習状況調査においては、小・中学校ともに、国語、算数・数学の全区分で平均正答率が全国平均以上という結果でした。平成25年度から4年連続で全国平均を上回っており、これまでの学力向上の取組の一定の成果が現れています。

一方で、特定の内容に関する知識や技能の定着、身に付いた知識・技能を活用する力、学習習慣や生活習慣の確立、家庭学習の充実などの課題は、依然として継続しています。また、次期学習指導要領の趣旨を周知・徹底させ、これからの時代に求められる資質・能力を子どもたちに確実に育んでいく必要があります。

そこで、「やまぐちっ子の学力を育む検証・改善委員会」では、学校における取組や教育委員会の施策、これまでの全国学力・学習状況調査や山口県学力定着状況確認問題の結果等を踏まえ、今後の取組の一層の充実に向け、以下の提言をまとめました。

1 学力向上に向けた学校の組織的な取組の一層の充実

- 山口県学力定着状況確認問題と学力分析支援ツールを引き続き活用し、全国学力・学習状況調査と合わせた年間2回の検証改善サイクルによる課題解決に向けた全校体制での取組を徹底させること
- 見通しと振り返りの充実、「主体的・対話的で深い学び」の過程の計画的な実施、板書型指導案や授業評価の活用、小学校の教科担任制の実施等、組織的な授業改善に向けた取組の一層の充実を促進すること

2 教員の授業力のさらなる向上

- 研修会等の開催により、キャリアステージに応じた個々の教員の指導力向上を図ること
- 校内のミドルリーダーや学力向上推進リーダー・推進教員等を活用した日常的、組織的な授業改善の取組の活性化を促進すること
- 既存の授業改善資料の活用や、研究指定校、やまぐち総合教育支援センターとの連携等により、継続課題の解決に向けた指導方法の研究を推進するとともに、成果の普及に努めること

3 学力定着・向上と継続的な学力課題の解決に向けた学習環境の整備

- 合同研修会や乗り入れ指導、研修会への相互参加により、幼保小連携・小中連携・中高連携の一層の充実を促進すること
- 少人数指導や補充学習の計画的な実施、個に応じたきめ細かな学習支援を徹底する体制づくりを推進すること

4 「社会に開かれた教育課程」を見据えた、家庭・地域との連携・協働の推進

- 家庭との情報共有により学習習慣の確立を図る取組を促進すること
- コミュニティ・スクールや地域協育ネットの仕組みを生かし、地域の人材や歴史、伝統文化、産業等、地域の教育資源の積極的な活用を推進すること
- 情報発信の工夫により、教育施策や学校の効果的な取組の周知・普及に努めること

本提言をもとに、各市町教育委員会との連携強化を進めるとともに、学校・家庭・地域が一体となった学力向上の取組が一層推進されることを期待します。